

助成受給団体名	ふりがな みずさわちくぼうはんきょうかいれんごうかい
	水沢地区防犯協会連合会
事業の名称	「こども110番のいえ」活動支援
実施期間	平成25年 8月1日 ~ 同 25年 12月31日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
<p>・「こども110番のいえ」看板配布 平成24年度貴事業助成による、「こども110番のいえ」の現状に即した設置を行った。その際、新規設置者に対する看板については、地区内の入れ替え等で対処できるものとして予算化していなかったが、新規設置希望が多く、急遽看板を作成することとなった。しかし、平成18年度と同じ看板を作成する予算がなかったため、単価を抑えた看板を作成し配布した状況がある。</p> <p>平成18年度に委嘱した設置者については、平成24年度の事業でのぼり旗を配布したが、看板については6年が経過し看板の風化が激しく、設置目的である「子どもや女性に変な人に声をかけられたり、知らない人に後をつけられたりした際、一時的に逃げ込む場所、110番通報をしてくれる場所、警察がくるまで待たせてくれる場所」としての目印としての効力が無くなってきている現状を受け、平成18年度に委嘱している287ヶ所に対して、平成24年度配布した看板と同じ看板を作成し、交番・駐在所員とともに、地区防犯協会が設置者に対して配布した。</p> <p>さらに、広報誌等においても、看板配布・設置についてPR等を行い、「見せる防犯」の強化、並びに地域の子どもの安全を見守る体制を強化した。</p>	
実施の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
<p>平成24年度新規設置者に、さらに今年度平成18年度委嘱者に対して、同じ看板を配布することができ、水沢警察署管内の394ヶ所全ての「こども110番のいえ」の看板が統一されたことになり、「見せる防犯」並びに子どもの安全を見守る体制を強化することができた。</p> <p>さらに、水沢警察署の協力を得、交番・駐在所員とともに「こども110番のいえ」の看板を配布したことで、設置者に対して直接注意・助言ができ、「あまり自分たちが活躍しない方がいいのだが。」という言葉通り、設置者として地域の子どもの安全を守るという意識を再確認する機会となった。</p> <p>平成25年中の水沢警察署管内の子どもに対する脅威事犯(声かけ、つきまとい等)が50件(前年比19件増加)と、ますます今後、地域の子どもの安全を守るという立場から「こども110番のいえ」の重要性が高まった。</p>	
今後の課題	
<p>・水沢警察署管内「こども110番のいえ」394ヶ所に看板を配布したが、平成26年4月に前沢地区7校の小学校が統合することになり、スクールバスを運行する計画が進んでいる。そこで、4月以降にスクールバスの運行にあわせた前沢地区の「こども110番のいえ」の見直しをしてほしいという意見がでており、現状を把握しながら、見直し等していく事業を計画していくことが必要となる。</p> <p>・平成25年中の水沢警察署管内における脅威事犯(声かけ、つきまとい等)は年々増加しており、この状況を受け、1件でも脅威事犯が減少するような事業等も考えていく必要があると思われる。</p>	

